

ID No.104	
研究課題名	新規肺がんペプチドワクチン療法の臨床開発研究
研究代表者	柏木 厚典（滋賀医科大学・病院長）
研究組織	
受入教員	中村 祐輔（東京大学医科学研究所）
研究分担者	醍醐 弥太郎（滋賀医科大学） 松田 浩一（東京大学医科学研究所）
研究報告	
（１）肺がんの分子病態の解明と肺がんペプチドワクチンの開発 肺がん組織や複数の固形がんで高頻度・高レベルに発現するoncoantigenを同定してその臨床応用に向けた機能解析を実施した。これらの研究成果の一部については、日本癌学会総会（名古屋：口演8題）、日本臨床腫瘍学会（横浜：口演2題）、日本人類遺伝学会（幕張：口演2題）、米国癌学会（AACR：示説2題）、米国臨床腫瘍学会（ASCO：示説2題）で発表した。また10個のoncoantigen（CSTF2, EBI3, CHODL, KIAA0101, MAD2, CDC45, OIP5, CDC20等）につき、発がん機構に関する詳細な機能解析やバイオマーカーとしての検証を行い国際雑誌に論文発表した（成果発表欄参照）。また一部のoncoantigenからエピトープ抗原ペプチドの同定に成功した。 （２）肺がんペプチドワクチンを用いた臨床試験の実施と安全性・免疫学的反応の検証 肺がん患者を対象とする下記3課題の第I相臨床試験を滋賀医科大学において実施中である。 ・標準療法不応の非小細胞肺癌に対するHLA-A24拘束性新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法 ・標準療法不応の非小細胞肺癌に対するHLA-A02拘束性新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法 ・標準療法不応の小細胞肺癌に対するHLA-A24拘束性新規腫瘍抗原エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法	